

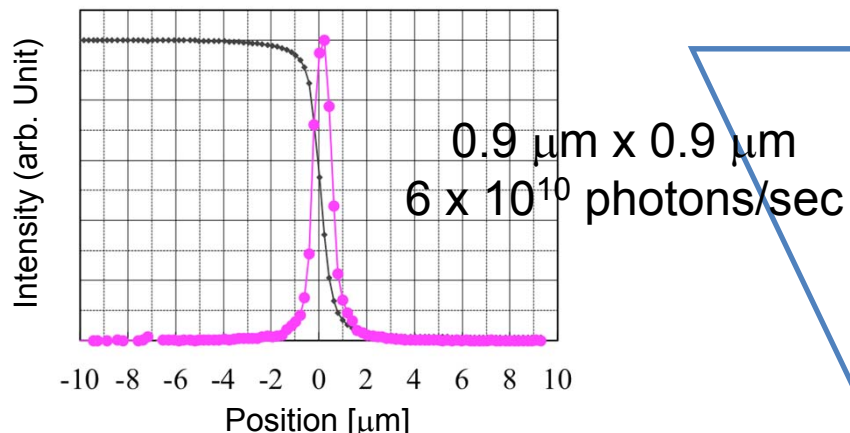
I. 技術開発研究

「I-② 解析領域」の成果の例①

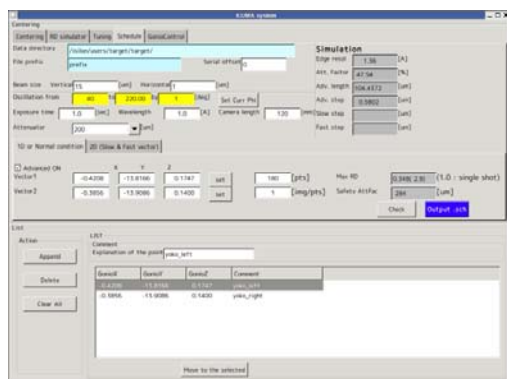
【BL32XUのマイクロビームを用いて最小10ミクロンの微小結晶からの構造解析に成功】

超高輝度マイクロビームと放射線損傷を考慮した測定戦略により、膜タンパク質の高分解能解析を実現した

山本雅貴(理化学研究所播磨研究所)



＜世界一明るい微小ビームの実現＞



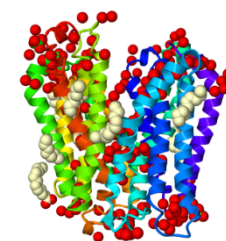
＜ユーザ実験支援システム開発＞

- タンパク質結晶の放射線損傷量を予測
- 結晶サイズから最適測定条件を提案

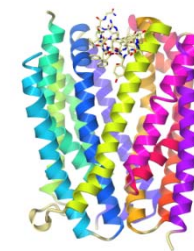
＜膜タンパク質の構造解析に成功＞
最小 10 ミクロン 分解能 2.5 Å 以上



Channelrhodopsin



膜タンパク質 A



膜タンパク質 B

微小結晶から高難度試料の
高分解能解析を実現